

松 濤

第39号

2015年8月吉日

発行

千葉県立一宮商業高等学校
同 窓 会千葉県長生郡一宮町一宮3287
千葉県立一宮商業高等学校内
TEL 0475 (42) 4520(代)
FAX 0475 (42) 7418
http://ichisho-dosokai.com/

創立九十周年を祝して



同窓会長

古市 義 策

会員の皆様にはご壮健で活躍のこととお慶び申し上げます。

母校千葉県立一宮商業高校は、大正十四年五月十日一宮町有志により私立一宮実業学校として創立され、爾来幾多の変遷を経て、本年度九十周年を迎えることができました。このことは同窓生としてこの上ない慶びであり、これまで携わってこられた多くの皆様方に深く感謝申し上げます。

この九十周年を記念し、六月二十日同窓会総会終了後記念講演として、評論家で「NPO法人高齢社会を良くする女性の会」理事長樋口恵子様に「人生一〇〇年を生きる―覚悟と快楽―」と題してご講演を頂きました。樋口様は読売新聞の人生案内の回答者でもございますので、お名前はお目にした方も多いのではないかと思います。同窓会員や地元の方々など多くのご参加を頂き盛会理に終了しました。

さらに、同窓会としては、記念事業の一環として現在同窓会名簿の発行を進めております。

学校でも同窓会、後援会、PTAが中心となり、創立九十周年記念実行委員会を

組織し、記念事業を実施しております。主な内容は、学校の施設・設備の充実、この十年の学校の歩みを中心としての記念誌の発行及び記念講演会などです。記念講演の講師は本校昭和五十七年の卒業生で㈱ハイパーの創業者で玉田宏一様です。在校生の皆さんに元気の出る素晴らしい講演会になることを思います。

次に同窓会活動の主な動きについて報告します。経費節減のため、今年度からこの松濤の編集・発送等の事務を外部に委託することとし㈱サウト様をお願いしました。さらに支部活動についてですが、現在五支部で各支部役員の皆様方のご努力により充実した活動が行われておりますが、諸般の情勢により、来年度から東京支部と千葉支部を併合して首都圏支部として新たに活動することとなりました。今後の支部活動の一層の充実を期待します。

さて、少子高齢化は一層進んでおり、特に茂原以南の生徒数は減少の一途を辿っております。高校に限らず、小・中学校も統合によりその数が年々少なくなっております。このような状況にもかかわらず、母校は、校長先生を始め先生方のお陰で昨年度の入試でも定員を上回る多くの志願者があり、同窓生としても大変喜んでおります。後輩諸君も生き生きと学校生活を送り、部活動は盛んで、進路指導も充実しております。関係の皆様は心から御礼申し上げます。今後とも母校が一層充実・発展しますよう祈念しご挨拶とします。

創立90周年を祝して



校 長

林 道 行

同窓会の皆様には、常日頃から本校教育活動に多大な御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげ様で本校勤務が二年目となり、改めて伝統ある一宮商業高校発展のために精一杯努力をしていく所存です。

さて、創立九十周年を迎え、これまで本校の発展に寄与されました卒業生の皆様に感謝申し上げます。実行委員会としては、生徒講演会や航空写真の撮影などの行事を計画しておりますが、記念すべき年に在校していた生徒にもよい思い出となることを願っております。

近年日本に昔からあった良さが次第に失われつつあるという状況の下、社会生活を営んでいくための基本的な倫理観や自制心・自立心を育てるなど「心を育む」教育が重視されています。その一つに「校訓を見つめ直し、実践する。」先生と子どもが一緒になって、各学校にある校訓を具現化する取組を継続的に実践し、地域でこれを応援しよう！という取組があります。本校の教育目標は、「ひとりひとりの生徒の能力・適性等の的確な把握に努めるとともに、その伸張を図り、産業社会に貢献し得る有為たる人間を育成し、特に次の三項目の人間教育に努力をすること」です。

①自治と真理を探究する信念の人

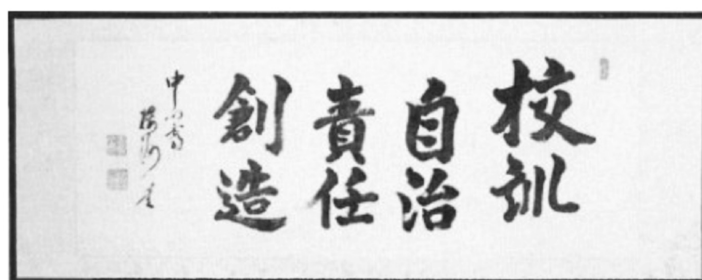
(自分が正しいといえる人)

②責任を全うする信義の人

(約束を守る人)

③創造に励む進取の人
(進んで新しいことに取り組む人)

この教育目標の根底にあるのは、建学の精神を「自律にして協同する人物の育成」に置き、その自律にして協同する人間形成の指導原理を「自治」「責任」「創造」の三句に集約して、本校の校訓と定めたことです。この校訓が校歌の一説に組み込まれていることも貴重なことです。生徒には、本年度の目標として、「当たり前のことを当たり前にやること」、「きまりを守ることに新しいことにチャレンジすること」をお願いしました。



九十周年の節目にこの建学の精神を活かし、これからは「地域から愛され、地域から信頼される学校づくり」を教育の基盤におきながら、就職も進学もできる学校として、学習指導・進路指導の一層の充実を図ってまいります。卒業生の皆様にはこれからも母校発展のために、なお一層の御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに同窓会のますますの御発展を祈念いたしまして、御挨拶とします。

支部報告

東京支部だより

東京支部長
石川省三(昭和37年卒)

平成二十六年度の東京支部総会は残暑の感じられる九月二十七日に開催されました。

今回の参加者は二十名でした。堅苦しい総会を出来るだけ簡略化して「参加して良かった」と実感できる楽しい集いしようという趣旨から専用バスでの「小さな旅行形式」の総会も今回で十回目となりすっかりお馴染みとなりました。

今年は「佐原を中心とした下総の国観光とお食事会」と銘打ち東京駅八重洲を十時に出発し最初の訪問地「下総国一の宮香取神宮」へと向かいました。

その間に車内では前年度の活動報告や会計報告等の審議を進め総会を無事終了することが出来ました。

ご来賓として同窓会から古市義策会長、母校から総務部長山田八郎先生にお出ましいただきました。

さすが下総国一の宮香取神宮は厳かで格式が高い神社でした。

参拝を終えた後、食事処「佐原千よ福」に向かいました。佐原ならではの美味しい郷土料理とお酒をいただいた後、山田先生から学校の現況、古市会長から同窓会の現況、動向等の講話をいただきました。

一休みした後、郷土千葉県の歴史に残る人物「伊能忠敬記念館」と歴史のある佐原の街並を散策し充分堪能する事が出来ました。

来ました。

最後の見学場所水郷の蔵本「東薫酒造」で試飲、工場見学、お買い物と全員が満足した様子です。特に試飲した酒が「こんなにうまいと思ったことはありません」お酒の酔いを残したままバスに身をまかせ東京駅へ向かいました。

いつもの旅行会社の添乗員さんが豊富な知識で事細かにガイドしていただき和やかな雰囲気の中夕方五時近くに東京駅に到着し、またの再会を約して解散致しました。

千葉支部だより

千葉支部長
最首隆夫(昭和37年卒)

平成二十六年度の千葉支部総会は恒例となりました世界遺産(文化)巡りとして登録直後の富岡製糸場をメインに磯部温泉へのバスツアーを企画、九月二十七日に開催しました。

当日は来賓として一宮商業から林校長にご出席を賜り、長生支部、茂原支部からも参加いただき、出席者は二十一名でした。

車中にて総会に入り、来賓から祝辞を賜り、米倉支部長の挨拶に続き、二十五年度の事業・会計報告、二十六年度の事業方針が審議され原案どおり承認されました。

晴天にも恵まれ、富岡製糸場はかなり人で賑わっておりましたが、場内は広大で案内人の説明に聞き入り、明治人の

魂に触れました。記念撮影後、周辺を散策、汗を流すべく磯部温泉へ。今回特筆すべきは二十七年卒の会員が二名参加されたことです。車中はサロンカーでしたので往路・復路と先輩、後輩一体となり楽しい語らいの中での親睦を深めました。

魂に触れました。記念撮影後、周辺を散策、汗を流すべく磯部温泉へ。今回特筆すべきは二十七年卒の会員が二名参加されたことです。車中はサロンカーでしたので往路・復路と先輩、後輩一体となり楽しい語らいの中での親睦を深めました。

茂原支部だより

茂原支部
山田八郎(昭和49年卒)

平成二十六年十一月七日、第十七回茂原支部総会が盛会のうちに開催されました。林道行校長、古市義策同窓会長他たくさんの方の来賓をお招きして、総勢七十六名が参加しました。

総会では、支部長あいさつ、同窓会長あいさつ、学校長のあいさつ並びに現状報告に参加者一同耳を傾けていました。

平成二十五年年度の事業報告、会計報告、平成二十六年年度事業予定は原案どおり承認を終えて懇親会へと移りました。

長年茂原支部取り纏めに貢献のあった齊藤巨弘前幹事長に感謝状を贈呈するというサプライズから懇親会が始まりました。

始めのうちは勤務先ごとに設定されたテーブルの仲間内での懇談が、アルコールが進むにつれて移動が始まり、企業や年代を越えた交流はさすがに同窓会、一宮商の絆を感じさせるものでした。

参加者の年代も、昭和二十年卒の白井顧問から平成十年卒の渡邊さん、山口さ

んまで多彩で、業種も多いことからあちこちで名刺の交換や情報交換も行われています。また近年女性の参加者が少しずつですが増加傾向に有り、次回は友達に声をかけて参加しようと思いを掛け合っていたでいています。初参加の会員に自己紹介をお願いして、来年の再会を約して中締めを迎えるのです。

んまで多彩で、業種も多いことからあちこちで名刺の交換や情報交換も行われています。また近年女性の参加者が少しずつですが増加傾向に有り、次回は友達に声をかけて参加しようと思いを掛け合っていたでいています。初参加の会員に自己紹介をお願いして、来年の再会を約して中締めを迎えるのです。

長生支部

長生支部
鵜沢一男(昭和57年卒)

母校を卒業して33年が過ぎました。しかし、今でも在籍していた3年間を鮮明に覚えています。人生で一番楽しい時間を過ごしたのだと思います。

そして、その中で得たものは多くの友人です。高校時代の友人は生涯の友となりました。

卒業して今日まで、過ごせたことは、その友人たちの支えがあったからだと感じています。同窓生の皆様も私と同じ思いではないでしょうか。

一宮商業高校は素晴らしい学校です。あの時、他の高校を選んだら私も皆様も今日は無かったのだと思います。

そして、その母校が今年で創立90年を迎え、これを記念して同窓会では名簿を作成するとのことでした。

これを機会に懐かしい友人に会いたいと思います。多くの時間は過ぎましたが、気持ちちはあの時のままだと思います。楽しみです。

最後に愛する母校が益々発展されることを祈っております。

夷隅支部だより

夷隅支部

土屋 仁朗 (昭和39年卒)

緑豊かな房総の、住みよい所の夷隅地方から昭和四十年に卒業後、半世紀過ぎた今、消息不明の同窓生も五十名を超え、それぞれの人生のいろいろを考えさせられます。

創立九十周年を迎える同窓の想いは、地域社会における高等教育の学び舎として我が母校が存続していく事であり、市町村合併、学校統合、少子高齢化の進む時代においても、昭和の志と伝統文化を引き継ぎつつ、新しい歴史の変化に対応するしなやかさをもち、活き続ける事ではないかと思えます。夷隅地域以南も、時空と物流、人の動きの早さが都市部との違いの中で、南総(総南)地方の特性を生かした支部のありかたを続けられればと思います。

現在は、君塚支部長様の健康回復を待ち、一日も早い支部活動の再開が望まれるところです。



第3回同窓会ゴルフ大会開催

平成27年6月19日、一宮商業同窓会コンペが梅雨空の中で盛大に開催されました。この会の趣旨は、総会参加者の増員と、ゴルフを通じてお互いの親睦を図る事が目的であって、総会前日に開催しているものです。

さて、今回は6組23人の参加でしたが、生憎の雨でしたので、「スコアの悪いのは雨のせいだ。」と嘆く選手もちらほら…。

その中で栄えある優勝者は一宮町在住の戸坂功さん(昭和43年3月卒)でした。優勝の賞品と、副賞として古市会長より提供された沢山の賞品の中で、水揚げ直後の鮮魚「ワラサ」をゲットして大満足の様子でした。

主な成績は次のとおりです。

優勝	戸坂 功	86ストローク
準優勝	芝崎 登	89ストローク
第3位	鶴岡樹一	83ストローク

来年は、総会が6月18日(土)ですので前日の17日(金)、一宮CCです。

各学年でのWコンペなどの企画も大歓迎です。沢山の参加者を募集いたします。

【幹事 飯塚哲夫・吉野昇】

第4回 同窓会ゴルフ大会

日時
平成28年6月17日(金)
場所
一宮カントリークラブ

お気軽にご参加ください。



平成27年度 茂原支部総会



期日：11月6日(金) 18時30分
場所：茂原市内某所(調整中)
会費：男性 6,000円
女性 4,000円

会費は当日集金させていただきます。お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

【問い合わせ先】

幹事長 岡部
TEL 0475-42-5282
副支部長 三枝(S31年卒)
TEL 0475-25-2186
会計 山田
TEL 0475-22-3017

平成27年度 千葉支部総会

貸切バスで
復興の兆しを肌で感じる旅
福島県/いわき市

期日：平成27年9月12日(土)
集合：千葉三越前(7時集合)
会費：10,000円
(バスの中の飲食物、昼食代含む)

千葉支部の総会に同級生・先輩・後輩をお誘いあって、是非参加下さい。心ある方は、支部に関係なくどなたでも参加できます。

【問い合わせ先】

千葉支部
事務局長 鈴木 昭一(S38年卒)
携帯 090-1603-9966
FAX 03-6426-2707

平成27年度 東京支部総会

今回で11回目！
貸切バスによるミニツアー
巾着田の彼岸花と秩父神社
長瀬の食事会

期日：平成27年9月27日(日)
集合：JR東京駅八重洲中央口改札口
会費：9,000円(当日集金)
行程：東京駅一日高・巾着田―長生館(昼食)―秩父神社―秩父地場センター―東京駅着 17:30頃予定

お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

【問い合わせ先】

東京支部長 石川 省三(S37年卒)
TEL 090-8035-8590
事務局長 長谷川 正(S31年卒)
TEL・FAX 042-395-0672

「人生100年を生きるゝ覚悟と快楽」

講師 NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長

樋口 恵子 先生

【樋口恵子先生講演概要】

千葉県立一宮商業高等学校が創立90周年を迎えられたことおめでとうございます。本校の卒業生で東京在住の金綱さんとの縁で、この機会をいただいた。

講演の時間より少し早く一宮町に到着し、玉前神社に参拝した。さすが歴史のある神社だということがわかった。おみくじを引いたら大吉で運がいいと思った。それから一宮町役場を訪れ玉川町長と面会、種々お話を伺った。庁舎の屋上から見た太平洋の雄大さに感動した。

今年は戦後70年、考えさせられる年だと思っている。平和な時代が70年も続いて、ありがたいことだ。このことを斜に構えて考える人もいるけれど、私は素直にありがたいと考えている。「平和がありがたい」というのは、実は吉永小百合さんの受け売りで私も使わせてもらっている。

明治以来この国は比較的短い周期で戦争をしてきた。維新、西南戦争、日清戦争、日露戦争、第1次世界大戦、そして先の戦争に連なる一連の戦争。私の人生は昭和7年に始まった。

戦争を知らない子供達という歌があるが、私は平和を知らない世代だった。そうした時代に育った者がまだいて、その責任



として2度とあの悲惨な経験をさせてはいけない、平和な時代を90年、百年と続けていかねばならないと思っている。

日本は5年ごとに国勢調査を行っているが、昭和15年男性の平均寿命は46才、女性は49才だった。長生きできなかったのは、疫痢、赤痢、百日咳等の感染症や国民病と言われた結核で亡くなる人が多かった。私の兄弟も感染症で亡くなった者もあり、感染症に弱い家系だったといえる。

昭和20年は国勢調査は行われなかったが、統計によれば男性23・9才、女性37・

5才と推定される。これは、戦争により多くの人が亡くなったことによるものだ。

平成25年、男性は80才を超え、女性は86才、日本は世界一の長寿国となった。東日本大震災の折、世界一の座を暫く譲ったこともあったが、依然として高い水準にあることは確かだ。

欧米や先進国では高齢化が進んでいる。先日出生率の発表があったが、昨年よりさらに減少した。少子高齢化は加速度的に進行するだろう。北欧の国々の出生率は1・7〜2程度となっている。日本に比べて対照的だ。

明治初年、我が国の人口は3600万人、4000万人といわれている。私は、女性の尊重と男女平等を主張した福沢諭吉を尊敬しているが、その著書の中に「我らが同胞4000万」というくだりがある。小学生の頃「一億一心」のポスターを書かれた。当時植民地等を含めて日本の人口は9千数百万といわれていた。それが終戦後、昭和22年には7900万人になった。戦争というのは悲惨な結果を生み出すものだ。

20世紀初め、世界の人口は17億だった。それが21世紀初頭には70億を超えた。食料やエネルギー、地球はいつたい何人まで持ちこたえられるのか。平和で安定した暮らしを維持しつつ、人口爆発を起こさない手段を考えるべきだと思う。

戦後70年で何が変わったかといえば、寿命が延びたということだ。2012年の高齢化社会に対応する要綱が閣議決定されている。この中では高齢者が活躍できる社会にするよう提案されている。高齢者が、「支



えられる側から、支える側へ」変わることや、「人生65年社会から90年社会へ」の提言がなされている。

実際に、100才以上のお年寄りには57000人を数えた。一宮町にも7名ほどいらつしやるようだ。これが、今年には60000人を超えるだろう。これは、まさに人生100年時代の到来を意味している。

スウェーデンでは「ハッピーバースデー」の歌の歌詞が違うそうだ。

長生きしよう 長生きしよう

子供はきつと100才まで生きる

長生きしよう 長生きしよう

あなたはきつと100才まで生きる

それが最近では100才の部分で「いつまでも生きる」と変えているとのことだ。

自分の人生を大切に、命の賞味期限をしっかりと使い切るということが大事なのだと思う。

極東の小国日本を訪れ、札幌農学校で教鞭をとったクラーク博士が日本を去る時、教え子に語った言葉、「少年よ大志を抱け」はあまりにも有名だ。日本の少年達に植え

平成26年度 一宮商業高等学校同窓会 収支決算書

自 平成26年 4 月 1 日
至 平成27年 3 月31日

※別途積立金(定期預金) 10,000,000

◎ 収入の部

科 目	予算額	補正額	計	収入済額	増 減
1. 入会金	1,120,000	0	1,120,000	1,120,000	0
2. 維持会費	1,250,000	0	1,250,000	1,232,410	▲ 17,590
3. 積立金取崩	0	2,200,000	2,200,000	2,200,000	0
4. 預金利息	5,000	0	5,000	909	▲ 4,091
5. 雑収入	1,000	0	1,000	0	▲ 1,000
6. 繰越金	1,687,299	0	1,687,299	1,687,299	0
合 計	4,063,299	2,200,000	6,263,299	6,240,618	▲ 22,681

◎ 支出の部

科 目	予算額	流用・増資額	計	支出済額	予算残
1. 総会費	100,000	0	100,000	2,732	97,268
2. 会議費	150,000	0	150,000	99,090	50,910
3. 接待費	100,000	0	100,000	50,000	50,000
4. 旅費	20,000	0	20,000	0	20,000
5. 通信費	1,000,000	0	1,000,000	810,651	189,349
6. 消耗品費	3,000	0	3,000	0	3,000
7. 負担金	54,000	0	54,000	54,000	0
8. 補助金	400,000	0	400,000	278,280	121,720
9. 事業費	1,300,000	0	1,300,000	1,119,768	180,232
10. 事務費	50,000	0	50,000	0	50,000
11. 積立金	0	0	0	0	0
12. 支部費	300,000	0	300,000	300,000	0
13. 雑費	50,000	0	50,000	5,000	45,000
14. 記念事業事業費	0	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0
15. 予備費	536,299	200,000	736,299	0	736,299
16. 繰越金	0	0	0	1,521,097	▲ 1,521,097
合 計	4,063,299	2,200,000	6,263,299	6,240,618	22,681

平成26年度同窓会会計を監査した結果、帳簿及び証憑類ともに正確に処理され適正であることを認めます。

平成27年 5 月 8 日

監査 高瀬 利之
海老根正明

付けたこの精神に実は後段がある。「この老いたる私のように」だ。年老いたといえども、まだまだできることはある、夢と志を若者に説き博士は日本を去った。私も、こうした気概を持って残りの人生を精一杯生きていきたいと思っている。

今まで順風満帆ではなかったけれど、楽しい人生だったと思っている。私には心残りがある。それは、孫の顔を見られなかったことだ。若い男女が結婚して家庭を持とうとする社会、若い夫婦を見守り応援しようとする社会になっていくことを願っている。70年間平和で幸福な時代が続いたことがありがたい。これを80年、90年と延ばしていきたいものだ。ご静聴ありがとうございました。

定期総会のご案内

一宮商業高等学校同窓会会長
古市義策

下記のとおり定期総会を開催します。

記

日時 平成28年6月18日(土) 午後2時30分

場所 母校会議室

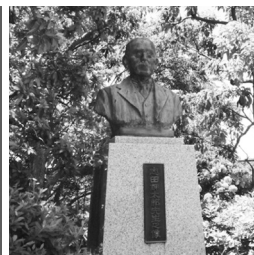
議題 平成27年度事業及び決算報告
平成28年度事業及び予算について

※総会終了後、懇親会を開催します。
(会費5,000円)
当日、校舎を背景に集合写真を撮影します。

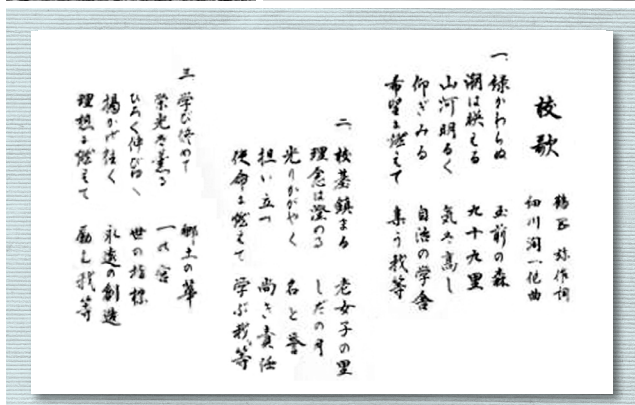
平成27年度 同窓会賛助金芳名録

金 額	氏 名 （順不同）									
30,000円	花澤 道子									
20,000円	三枝恵美子 平野 久寿									
10,000円	古山 健次	土屋 征雄	米倉 重作	本間 美邦	古市 義策	本間 良子	渡邊 英光			
8,000円	吉田 理和	岩瀬 誠之	田中 篤	田中きみ子	正林 宏平	蒔田 義三	中台 晴美			
	高師 達夫	佐々木英之	吉田 理和							
5,000円	實方つや子 藤原 晃 田中 正治 西川 徳郎 大場 壽一 古山 義久									
3,000円	大沢 温生	小路貴登志	古澤 祥年	斎藤 晴夫	奥村 敏之	高橋 隆叡	近藤 有弘			
	野村 正志	志田 延子	石川 省三	岡部 昌夫	齋藤 亘弘	海老根正明	實方伊三夫			
	大多和孝則	米本 郁徳	多田 光孝	長谷川 正	早藤佳代子	岩崎 優	麻生 幸恵			
	齋藤 信夫	今井 春夫	飯塚 進	丸山 道枝	小安 秀雄	土屋 芳廣	正木 清			
	沖村憲二郎	滝口 諭	君塚 泰三	金綱 久夫	増尾 叔子	吉田かず子	江沢 陽介			
	江沢 綾太	斎藤 利実	小高 光弘	磯野 智子	田邊 克己	田中 充	安川 和男			
	嶋野 定夫	石川 静江	高貫 博樹	吉野 昇	千葉 一雅	石井 國夫	鶴岡 良二			
	石川 正	古澤 祥年	斎藤 博一	寺嶋登志雄	田中 孝	齊藤 昇	飯塚 哲夫			
	田中 國男	柴田 勲								
2,000円	藤枝益二郎 新井よし子 半澤 尚浩 米元 澄子 塚本 晴樹 熊谷 拓士 斎藤 広樹									
1,000円	吉田 利男	丸 ゆう子	河野 祥平	金坂 則雄	田中 豊	木島 正博	鈴木 素代			
	宮内 洋子	木島 孝雄	宮崎 和夫	高原 滋之	諸岡 勝	牧野 英士	玉井 良策			
	山田 一寿	山田 八郎	山田 祐大	秋葉 芳孝	池澤佐伎子	陶 節子	向後 孝憲			
	小山 和男	吉田美津枝	入江 美喜	田中あゆみ	芝崎 俊二	光山 浩之	加藤 キミ			
	片岡 一郎	大野 正明	佐藤 俊幸	井桁 恵美	松崎 正次	鈴木富美子	野村 進			
	山木 久子	鈴木奈津子	佐久間芳子	中村新太郎	大竹 信雄	鵜野澤 博	森 豊巳			

学校通信



創立 90周年



進 路

進路指導部より

進路指導部長 露崎 成実

昨年度48%の卒業生が就職をし、約52%が大学・短大と専門学校に進学いたしました。進学の内訳は大学・短大が28%、専門学校が24%となっております。前年度と比べて大学が多くなっております。しかし全体の割合はここ数年大きな変化はありません。

昨年の10月の初めだったと思います。マスコミはアベノミクスの影響で高校生の就職戦線は売り手市場であるなどと報道しておりました。本校では当時特にようになった感じはありませんでした。近隣の学校でも状況は同じだったと聞いております。一般に高校生の就職活動は9月の16日に試験が解禁となり、その約1週間後に結果の通知があります。一昨年までは第1回目で不合格となった生徒が冬まで就職先を決定できないケースがありました。しかし昨年に關しては一度目でうまくいかなかった生徒の多くが前年までと比べて早い時期に就職先を決定することができました。

もう一つ特徴的だったのが女子の就職者の事務職が占める割合でした。最近では平成24年度が39%であったものが25年度には42%、そして昨年度は70%と急上昇をしたことです。これも景気回復の影響なのでしょうか。事務の雇用のタイミングがちょうど合ったのでしょうか。

毎年報告をさせていただいておりますが、ハローワークなどのまとめで他校と比較をしますと本校は他校と比べてかなり就

職に関しては恵まれており、近隣の学校の中ではかなり多くの求人をお願いしております。多くの一商出身の先輩方の各職場でのご活躍のお陰だと思っておりますし、生徒にもたびたびその旨話をさせていただいております。

大学・短大では例年指定校推薦とAO入試による入学が大半となっておりますが、昨年度は一般入試でも3名が進学を決定することができました。学部別では例年のようにビジネス系の学部を中心として・医療・法律・保育系などが中心となりました。

専門学校については様々な分野にわたって進学しており、2年後3年後にプロを目指すべく慎重な選択がなされたことを確信しております。看護師が不足している中で看護・医療系の学校への入学が難しかったことはここ数年の傾向で複数の生徒が最後の受験機会まで頑張った末合格を勝ち取りました。

公務員試験で合格した生徒に合格体験記を書いてもらったところ驚くことに、問題集を18冊やり模擬試験を15回受験したということでした。ただただそのがんばり力に驚かされたと同時に一商の真の力を見せつけられた気がしました。後輩に大いに刺激となったことと思います。

本校の生徒は伝統に支えられてしっかりとした学習、生活態度で学校生活を送っております。欠席や遅刻が少ないうえに資格取得や部活動によく取り組んでいることが就職や進学でも大きく影響しているようです。

一商を取り巻く環境は常に変化をしていますがが一商生に社会が要求しているものは本質的に変わりません。一商バリューが本校生徒を力強く支えてくれています。

部活動

平成26年度
後輩の活躍

野球部

春季大会 ベスト16
夏季選手権千葉県予選 2回戦
秋季大会 二次予選
東総大会 準優勝

剣道部

関東予選 1回戦
総合体育大会 第3地区4位
新人戦 1回戦

サッカー部

総合体育大会地区代表決定戦
高校サッカー選手権大会
1次トーナメント2回戦
新人サッカー大会第2地区予選

柔道部

関東大会予選
団体男女出場
男子個人無差別級出場 石井義隆
女子個人48kg級
ベスト8 瀬谷真也
女子個人63kg級
ベスト8 川合侑希
新人県予選
女子団体出場
女子個人48kg級出場
瀬谷真也・田中みく
女子個人52kg級出場
吉田珠奈

バドミントン部

関東高等学校バドミントン大会
千葉県予選会 男子団体1回戦
総合体育大会
第3地区予選会
男子ダブルス
ベスト8 菰田信也・浅見大地

女子シングルス

3位 渡邊未来

ベスト8 牟田恵璃香

ダブルス

ベスト8 渡邊未来・天野千秋

千葉県予選会

女子シングルス

2回戦 渡邊未来

新人バドミントン大会

第3地区予選

男子シングルス

ベスト8 松井大樹

男子ダブルス

ベスト8 大谷翼・松井大樹

女子シングルス

3位 牟田恵璃香

女子ダブルス

4位 牟田恵璃香・渡邊葵

千葉県予選会

女子シングルス

2回戦 牟田恵璃香

ソフトテニス部

女子

関東大会千葉県予選

団体戦 ベスト4

関東高等学校ソフトテニス大会

1回戦

総合体育大会

団体の部 ベスト8

個人の部 ベスト32

鈴木和香・藍野千奈美

瀧口優香・田中まひる

新人大会

団体戦 ベスト16

個人戦 ベスト16

瀧口優香・田中まひる

個人戦 ベスト32

秋葉菜・吉野沙也加

バスケットボール部

関東大会千葉県予選
女子 ベスト16

千葉県高校総体

男子 1回戦

女子 2回戦

新人大会地区予選

男子 予選敗退

女子 優勝

千葉県新人大会

女子 ベスト16

写真部

千葉県高文連合同写真展

三作品 入選

簿記部

千葉県高等学校簿記競技大会

フープロ部

千葉県高等学校フープロ競技大会

団体 2位

個人 2位

3位 中村知哉

入賞 井上夕希

電算部

全商プログラミングコンテスト

優秀賞

作品名 百人一首の達人

優良賞

作品名

It's a Japanese World

『あの時代にタイムスリップ』

第52回全商情報処理検定

最優秀賞 小安優花

佳作 吉野慧輔

全国高等学校情報処理競技大会

個人の部出場 大和久隼人

佐久間唯

千葉県高等学校情報処理競技大会

団体の部 準優勝

小松美穂・大和久隼人

秋葉良太・佐久間唯・田辺仁

吹奏楽部

千葉県吹奏楽コンクール 銅賞

平成27年度
全国大会出場!

ソフトテニス部 (女子個人)

田中まひる (2年)・瀧口優香 (2年) ペア

電 算 部 (個人)

田辺 仁 (3年)、鈴木隆斗 (2年)

フープロ部 (団体)

中村知哉 (3年)、佐藤絵里子 (3年)、舟見 萌 (3年)

以上3団体は、それぞれ夏休み中に行われる全国大会に出場します。

一商野球部後援会報告

(照明機器設置について)

一商野球部後援会は22年7月より、グラウンド(野球場)に照明設備を設置するため、皆様に募金をお願いしてまいりましたが、ようやく報告できる運びとなりました。当初は内野に固定式の照明を計画しておりましたが設置費用の高騰や、学校・野球部の要望もあり可動式LED照明を設置し、さらに雨天練習場の照明をLED照明に付け替え致しました。一商野球部はこれらの設備を使い日々練習に励んでいます。募金にご協力いただいた皆様・機器設置にご協力いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

以下、募金総額と募金者一覧、および照明機器の機種を記載いたします。なお、複数回の募金をいただいた方は氏名が重複している場合がありますのでご了承ください。

募金総額 2,202,516円

(振込手数料 ¥16,450円)

可動式LED照明

備え付きLED照明

雨天練習場照明の取り替え

支払額 1,805,328円

(振込手数料 ¥17,280円)

残金については、役員の皆様と相談し、野球部の活動に有効活用させていただきます。

平成27年 6月

千葉県立一宮商業高等学校

野球部後援会 会長 鈴木昭一

グラウンド照明寄付者一覧 (順不同・敬称略)

新井よし子	飯塚英子	池澤佐枝子	石井俊二	石川正美	石川江沢	静江綾	石原明	石原芳	芳子
磯野智弘	井上根由	今関大石	岩佐大岩	内山澤小	江沢高	綾信光	陽明一	光正明	代正明
江原大加	老岡加藤	岡部久保	奥村昌房	高小川村	高小川村	光弘子	一郎千夫	忠義正博	忠義正博
大場加藤	加藤直俊	久保田正一	川野幸二	最首隆夫	小高隆夫	池信夫	久夫	誠昭一	誠昭一
塚藤齊藤	木村登	三枝恵美	坂間里	佐藤利春	高梨篤	藤幸子	克世樹	信之秀雄	信之秀雄
関篠崎	関麻衣	莊司政蔵	高梨さつき	高梨芳	高梨芳	鈴木庸市	博樹信行	信之秀雄	信之秀雄
高橋中村	高橋伊衛	田邊武司	滝口房子	中村美枝	中村美枝	田中恵子	昭太郎	信男昭雄	信男昭雄
中村鶴岡	陶節子	成嶋敏美	野村幸子	長谷川祥年	長谷川祥年	秦山実	道子	義久充行	義久充行
原田喜一郎	日高信夫	堀口真輔	古市八郎	古澤久子	古澤久子	山本重作	雅代	利男桂子	利男桂子
伯耆原秀夫	山口幸治	山崎輝夫	山田俊光	米倉渡辺	米倉渡辺	湯浅陸子	かず子	渡辺	渡辺
村上律和	吉野明	吉野明	吉野明	渡辺	渡辺	二	行夫	渡辺	渡辺
吉田重徳	渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	二	一商	渡辺	渡辺
渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	渡辺	二	一商	渡辺	渡辺
茂原	長生	43年	S36年	S38年	S38年	一商	一商	渡辺	渡辺



平成二十七年 職員の異動

(退職職員) (再任用先)

尾形 保夫 (東金高校)

(転出職員) (転出先)

渡部 清 (千葉商業高校)

岩瀬 守男 (成東高校)

伊藤 弘文 (八街高校)

志賀 達也 (九十九里高校)

高山健太郎 (成東高校)

平野 順子 (長狭高校)

正業井善三 (大網高校)

加瀬 貴史 (銚子商業高校)

荒木 真彦 (流山高校)

永野 佳子 (茂原高校)

(転入職員)

布施 彰次 (生浜高校)

白石 勲 (成東高校)

加藤 茂範 (大原高校)

半沢 祥光 (新採用)

弓能家雅宣 (大多喜高校)

中村 利枝 (茂原樟陽高校)

田辺 和代 (九十九里高校)

清宮 義治 (大網高校)

渡邊 則行 (八街高校)

田中 善洋 (東金商業高校)

佐藤 美穂 (大網高校)

糸川 航太 (銚子商業高校)

安藤 美香 (大網高校)

斎藤 優里 (旧職員)

同窓会ホームページをご活用ください



同窓会のWebページ(ホームページ)利用方法

- ①事務局に、同窓会、クラス会の案内をお知らせください。その際、デジタルデータで原稿を送付してください。
- ②終了後は写真を添えて実施報告をお願いします。写真等のデジタルデータも一緒に送付をお願いします。
- ③同窓会のページを活用して情報交換にご活用いただければ幸いです。
- ④下記URLを「お気に入り」に登録しご覧ください。

同窓会専門WebページURL (すべて半角小文字)

<http://ichisho-dosokai.com/>

いちしょ はいふん どそかい どっと こむ

一宮商業 同窓会

検索

編集後記

原稿依頼を快くお引き受けいただいた執筆者の方々、また、ご支援していただいた方々に心から御礼申し上げます。お陰さまで、無事に第39号「松濤」を発行することができました。

一人でも多くの方に、次号が楽しみと思っただけのような「松濤」であり続けるために最大限の努力をしたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

(平成10年卒 田中 善洋)